

# 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

|     |            |
|-----|------------|
| 学校名 | 伊勢原市立成瀬小学校 |
|-----|------------|

## 1 調査結果の分析及び考察

|     | 特長   | 課題  |
|-----|--|---|
| 国語  | 【A問題】相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて事例を挙げながら筋道を立てて話すことができる。<br>【B問題】話し合いの参加者として質問の意図を捉えたり、計画的に話し合うための司会の役割について理解したりしている。                      | 【A問題】文の中における主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くこと。<br>【B問題】目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書いたり、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えと比べるなどして考えをまとめたりすること。   |
| 算数  | 【A問題】混み具合の比べ方や $180^\circ$ の角の大きさを理解している。<br>【B問題】示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めたり、合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に条件に合う図形を見いだしたりすることができる。                | 【A問題】小数の除法の意味、単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること。<br>【B問題】メモの情報とグラフを関連づけて解釈し、それを記述したり、棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断したりすること。   |
| 理科  | 【A問題】骨と骨のつなぎ目についてや堆積作用について科学的な言葉や概念を理解している。<br>【B問題】観察できる方法を構想することや、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察することを、選択肢の中から解答することができる。                     | 【B問題】実験結果を基に分析して考察したり、実験結果から言えることだけに言及した内容に改善したりして、その内容を記述すること。   |
| 質問紙 | ・朝食をしっかり食べ、決まった時刻に就寝・起床するなど、基本的な生活習慣が身に付いている。<br>・将来の夢や目標を持つ児童が多い。<br>・家庭での予習、復習など自主的に学習に取り組むことができる。<br>・算数に対して、意欲的に取り組んでいる様子がうかがえる。 | ・理科の学習が普段の生活の中で活用できたり、役に立ったりすると思っている児童が少なく、理科や科学技術に関する職業に将来就こうと思う児童が少ない。<br>・情報やニュースは、テレビやインターネットから得ている、新聞を読んでいると回答した児童は少ない。<br>・算数で3割、理科2割、記述式の問題で解答しなかったり、途中であきらめてしまったりする児童がいた。 |

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

漢字の読み書き、算数の計算など基礎的な知識や技能面では定着が図られている。しかし、どの教科も記述式の問題の無回答率は選択式の問題の無回答率より高く、「書くこと」に苦手意識を持つ児童が多くなることがわかった。そこで、それぞれの教科の特性に基づいて、自分の考えを根拠を示しながら説明したり、考えを書いてまとめたりする学習を授業の中に位置付け、思考力や表現力の向上を目指していく。

国語 … 主語と述語などの文中の語句の役割やつながりに気を付けて、文を書いたり読んだりする。  
算数 … 簡単な図や数直線にかいて、問題の内容や数字の意味を考えたり、言葉で説明したりする。  
理科 … 身の回りのことと関わらせて実験に取り組んだり、その結果や分かったことを、理科の言葉やきまりを使いながら自分なりに説明したりする。  
日頃から実験結果をもとに、同じこと・違うことに注意して比べたり、これまでの学習やいくつかの結果から考えたりして、自分なりに説明できるようにする。

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

◎家庭学習に意欲的に取り組んでいる児童が多くなります。ご協力に感謝いたします。

1、新聞や本を読む習慣を  
本や新聞などを読むことは、新たな知識を得たり、想像力を高めたり、偉人や色々な人々の考え方や言葉に触れたりできるなど、さまざまな効果があります。また、本や新聞などの文章から、自分の語彙を増やしたり、言葉の表現力を高めたり、文章を書く力を高めたりすることにもつながります。言葉の力を付けるために新聞や本を読む習慣をつけましょう。家族で図書館に行くというのも良いですね。

2、テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォン、パソコンの使用はルールを決めて  
放課後、家で過ごす児童の割合も高く、インターネット・ゲームなどで時間を費やす割合も高いようです。メールやSNS等の利用やゲームの時間などについて家族で話し合い、ルールを決めると良いでしょう。